

緊急時・受診の際に便利
自分で書き込んで活用できる

よねもり手帖



ふりがな
お名前

新しい手帖が必要な方は、
どうぞお気軽に受付までお申しつけください。

「もしも」の時に伝えたい、私のこと

急な体調不良やケガで救急車を呼ばれた際に、ご本人やご家族が以下の情報を救急隊に伝えることで、救急処置や搬送をより速やかに行うことができます。

お薬手帳と現在服用しているお薬、保険証は、
搬送される医療機関に必ず携行しましょう。

ふりがな
氏名

生年月日

血液型

住所 〒

電話番号(自宅)

電話番号(携帯)

既往・現病歴（既往もしくは現病のいずれかの枠に○をしてください）

既往	現病	病名	医療機関名	担当医師名

ご自身の情報をお書きください

かかりつけ医と連絡先

医療機関名	連絡先

その他、メモしておくこと（勤務先、同居家族等）

ご自身の情報をお書きください

緊急連絡先

ふりがな
氏名

続柄

電話番号（自宅）

電話番号（携帯）

1人目

ふりがな
氏名

続柄

電話番号（自宅）

電話番号（携帯）

2人目

受診について

はじめての方へ

まずは与次郎米盛クリニックへお越しください。

はじめての方とは、

- はじめて米盛病院・与次郎米盛クリニックを受診される方
- 以前米盛病院を受診したことはあるが、今回新たに生じた別の症状のために受診される方

お持ちいただくもの



保険証
(マイナンバーカード)



お薬手帳



- ・紹介状
- ・その他紹介元の病院からお預かりの書類など
(お持ちの方のみ)

2回目以降の方へ

前回受診の際にお伝えした来院場所(与次郎米盛クリニックもしくは米盛病院)へお越しください。

2回目以降のご来院の際は、診察券をお持ちください。

予約について

前回ご来院時に予約をされておらず、予約が必要な場合は下記へお電話ください。再診時は必ず予約が必要な診療科もありますので、各科の情報をご確認ください。



紹介状のない患者さまの米盛病院受診について

米盛病院は「**紹介受診重点医療機関**」です。紹介状の有無に関わらず、受診していただくことは可能ですが、**紹介状がない場合は通常の診療費とは別に「特別の料金」を徴収することが義務づけられています。**

※与次郎米盛クリニックは紹介状なしの受診でも、「特別の料金」は発生しません。

受診予約・お問い合わせ

☎ 099-230-0100 (代表)

電話受付時間 / 平日 9:00 ~ 17:00

※診療日時および受付日時は診療科により異なります。来院の際は、必ず事前にご確認ください。

よねもり手帖の 使い方

「私の受診メモ」は、患者さまご自身に記入していただくページです。

症状などに関するご不安の解消や、診察の備忘などに
お役立ていただけましたら幸いです。

受診日： 年 月 日 ()

受診科： 担当医師： 先生

気になること・医師へ相談したいことを
診療前に書いておくスペースです。

気になっている
症状や心配ごと
を忘れずに相談
できるように、
診察前にあらか
じめメモしてお
きましょう。

医師が話した内容・注意点などを、患者さまがメモするスペースです。

医師からの診断
やアドバイスな
どをいつでも振
り返ることがで
きるように、記
録に残しておき
ましょう。

■次回予約日時 年 月 日 () : ~ :

■受付場所 与次郎米盛クリニック / 米盛病院

■回りの内容 診察・検査・検査結果・処置・入院説明・
手術・ほか()

次回の来院日
時、場所(与次郎
米盛クリニック
もしくは米盛病
院)をメモして
おきましょう。

様々なお役立ち情報も掲載しておりますので、ぜひご活用ください。

私の受診メモ

受診日： 年 月 日 ()



受診科： 担当医師： 先生

気になること・医師へ相談したいことを
診療前に書いておくスペースです。

医師が話した内容・注意点などを、患者さまがメモするスペースです。

■次回予約日時 月 日 () : ~ :

■受付場所 与次郎米盛クリニック / 米盛病院

■回りの内容 診察・検査・検査結果・処置・入院説明・
手術・ほか ()

私の受診メモ

受診日： 年 月 日 ()



受診科： 担当医師： 先生

気になること・医師へ相談したいことを
診療前に書いておくスペースです。

医師が話した内容・注意点などを、患者さまがメモするスペースです。

■次回予約日時 月 日 () : ~ :

■受付場所 与次郎米盛クリニック / 米盛病院

■回りの内容 診察・検査・検査結果・処置・入院説明・
手術・ほか ()

私の受診メモ

受診日： 年 月 日 ()



受診科： 担当医師： 先生

気になること・医師へ相談したいことを
診療前に書いておくスペースです。

医師が話した内容・注意点などを、患者さまがメモするスペースです。

■次回予約日時 月 日 () : ~ :

■受付場所 与次郎米盛クリニック / 米盛病院

■回りの内容 診察・検査・検査結果・処置・入院説明・
手術・ほか()

私の受診メモ

受診日： 年 月 日 ()



受診科： 担当医師： 先生

気になること・医師へ相談したいことを
診療前に書いておくスペースです。

医師が話した内容・注意点などを、患者さまがメモするスペースです。

■次回予約日時 月 日 () : ~ :

■受付場所 与次郎米盛クリニック / 米盛病院

■回りの内容 診察・検査・検査結果・処置・入院説明・
手術・ほか()

Q 受診するには必ず予約が必要ですか。

A 与次郎米盛クリニックは、ご予約不要です。米盛病院は原則としてご予約が必要ですので、受診される際はお電話にてお問い合わせください。

Q MRI 等の検査は、希望すれば誰でも受けることができますか。

A 検査は医師が「必要である」と判断した場合に行います。心配な症状などがあり検査を希望される場合は、診察時にご相談ください。

Q 受診には紹介状が必ず必要ですか。

A 紹介状がない場合でも受診していただけますが、かかりつけ医などによる紹介状をご持参いただくと、より円滑な診療ができます(可能な範囲で紹介状のご持参をお願いする場合がございます)。

※ 2024 年 3 月 1 日付で、米盛病院は「紹介受診重点医療機関」となりました。紹介状のあり・なしに関わらず受診は可能ですが、紹介状がなく「紹介受診重点医療機関」を受診された場合、通常の診療費とは別に「特別の料金」を徴収することが義務付けられています。

※与次郎米盛クリニックは紹介状なしの受診でも「特別の料金」は発生しません。

Q 通院でリハビリを受けたいのですが、希望すれば誰でも受けられますか。

A まずは受診していただき、医師が「必要である」と判断した場合に、与次郎米盛クリニックにて、通院でのリハビリ(予約制)を受けていただきます(なお、現在のところ、与次郎米盛クリニックでのリハビリは、整形外科疾患の患者さまのみを対象としております)。

Q 紹介状はすぐに作成できますか。

A 誠に恐れ入りますが、作成に1週間程度かかる場合がございますので、あらかじめご了承くださいますようお願いいたします。紹介状の作成を希望される場合は、お電話にてお問い合わせください。なお、紹介状の作成には「診療情報提供料」という料金がかかります。

Q 院内に食事ができる場所はありますか。

A 米盛病院東棟1階に、シアトルズベストコーヒー（カフェ）がございます。パスタやホットサンドなどのお食事だけでなく、コーヒーやスイーツなどもございます。

Q 駐車料金は無料ですか。

A 外来診療当日の患者さまおよびご家族の駐車料金は無料です。入院される患者さまとご家族は、入退院当日および手術当日は無料です。ご面会の方は2時間無料です。2時間以降は有料となります。（30分あたり100円の駐車料金が発生します）

Q 一番近いバス停はどこですか。

A 鹿児島市営バス（16番線・27番線）が停車する「与次郎一丁目」と、鹿児島交通（32-1番線）が停車する「共月亭・米盛病院前」が最寄りのバス停です。

Q ATMはありますか。

A 米盛病院東棟1階ファミリーマート内に鹿児島銀行のATMがございます。



受診の際、お困りのことがございましたら、お気軽にコンシェルジュにお声掛けください。

健康診断の所見から分かる



心臓のサイン



健康診断の用紙に印字された気になる「所見あり」。

ひょっとしたら、病気のサインかもしれません。

徐脈

は 心 電 図	No.	1. 異常なし ② 所見あり	洞性徐脈 要再検査
------------------	-----	-------------------	-----------

心臓を動かす電気信号のリズムが異常に遅いものを「徐脈」といいます。高齢者やスポーツ選手に多く見られます。心拍数が1分間に50回を下回る高度な徐脈については、専門医療機関での二次検査の必要があります。

徐脈性不整脈は、正常よりも脈が遅くなる病気の総称です。主に治療の対象となるのが、**洞不全症候群**、**房室ブロック**などです。いずれも症状としては、脳への血流が減ることによって起こる失神や、運動時の息切れや強い疲労感、心不全による呼吸困難などです。この病気は自覚症状に乏しく、健康診断の心電図検査で偶然見つかることも少なくありません。主に加齢によって発症します。

頻脈

は 心 電 図	No.	1. 異常なし ② 所見あり	洞性頻脈 要再検査
------------------	-----	-------------------	-----------

心臓を動かす電気信号のリズムが異常に速いものを「頻脈」といい、病的な頻脈は発熱時、貧血時などで見られることがあります。心拍数が1分間に120回を上回る高度な頻脈は、専門医療機関での二次検査の必要があります。

頻脈とは、脈が速くなる不整脈です。脈が速くなると、心臓は効率的に血液を送り出すことができなくなります。代表的な疾患は**心房細動**といい、心房が痙攣したようになります。その拍動数は1分間に300回以上となり、心臓のポンプの力が低下し、血液が心房の中でよどみ、血のかたまり（血栓）ができやすくなります。この血栓が脳に運ばれると脳梗塞を引き起こします。

ST異常・異常Q波

は	No.	1. 異常なし	ST-T 異常 要再検査
心電図		② 所見あり	

ST 異常とは、ST と呼ばれる心電図の基本線の波形の一部分に異常が見られることです。異常 Q 波とは、心臓全体の電気的な刺激の流れの一部分が、通常の方法と異なっていること。いずれも速やかな二次検査が必要です。

ST 異常は、重篤な疾患のサインである可能性があります。「ST 上昇」の場合、**狭心症**、**ブルガダ症候群**などの診断につながることがあります。「ST 低下」の場合、心内膜面に虚血が見られる場合があります。異常 Q 波は、**心筋梗塞**の特徴的な波形ですが、**左室肥大**や**左脚ブロック**などでも認められることがあります。ただし、健康な人でも、体質によって異常が見られることもあります。

心雑音

1. 異常ありません
② 次の所見がありました、(心雑音)

心臓には心房と心室が2つずつ、合わせて4部屋あり、拍動に合わせてこれらの部屋をつなぐ4つの弁が常に開閉を繰り返しています。この弁や血管を血液が通過する際に発生する、比較的持続音が長い振動音を心雑音といいます。

心臓に病気がなくても聞こえる心雑音がありますが、一方で病気によって生じる心雑音もあります。大人で心雑音を生じる病気の代表は**心臓弁膜症**です。弁膜症とは、弁が加齢や感染症、外傷などの問題によって正常に機能しなくなることを言います。特に多いのが、大動脈弁狭窄症と僧帽弁逆流症です。「心雑音がある」と言われたら、まずは循環器内科の医師がいる医療機関を受診してください。

胸の気になる症状は与次郎米盛クリニック「循環器外来」



「なんとなく胸に違和感がある」など、胸の症状が気になる方は、循環器系を専門とする医師がはじめに診療にあたります。

精密検査や急性期治療が必要な患者さまは、米盛病院の循環器内科・心臓血管外科・血管外科にて検査・治療を行います。

▶与次郎米盛クリニック「循環器外来」: 月～木曜

【受付時間】8:30～17:00 【診療時間】9:00～12:30、14:00～18:00

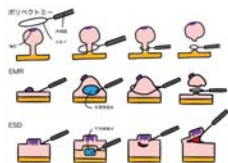
※詳しくはホームページの診療科ページをご覧ください。

日常の健康づくりや受診・治療前後の情報収集に
お役立ていただける情報を発信しています。



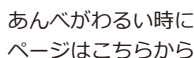
主に内視鏡治療になります。内視鏡治療には、ポリプのくびれの部分にスネアと呼ばれる鉤状の金属を引っかけ取りポリプを取り除く内視鏡的ポリプ切除術（ポリペクトミー）。ポリプの下の粘膜下組織に薬液を注入し、ポリプを盛り上げらせればスネアを用いて切除する「内視鏡的粘膜下層剥離法（EMR）」、ポリプの下の内粘膜下組織に薬液を注入し、覆うの粘膜を切除して少しずつ削がしながら切除する「内視鏡的粘膜下層剝離術（ESD）」といわれるものがあります。

これらの方法は大きく3つや4つに分けて、大別します。



病気の予防

大腸がんは、食生活など生活習慣が関係しているといわれています。1日3食のバランスのとれた食事を取り、節酒、禁煙、適度な運動



あんべがわるい
(具合がわるい)時や
気になる病気がある
時に、「詳しい情報
を知りたい」と思わ

あんべがわるい時に

れたら、ホームペ
ジ内のケガ・病気が
イド「あんべがわる
い時に」をご覧ください。
さい。症状別、痛み
やケガの部位別に

YouTube



病氣・ケガの予防
や治療に関する情報
をお届けする、公式
YouTube チャンネル
です。「脳梗塞」「心
筋梗塞」「スポーツ障
害」などをテーマとし
た医師による講演や、
理学療法士によるス



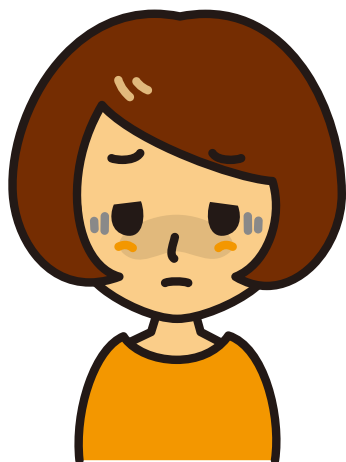
スマホピチャネル
はこちらから

トレッチ指導などを
ご覧いただけます。
随時動画を追加して
いく予定ですので、
ぜひご覧ください。

診療科のご紹介

受診先がわからない ▶	総合診療科	P17
胸の痛み、動悸・息切れ ▶	循環器内科	P19
突然の頭痛・ろれつが回らない 片側の手足のまひ ▶	脳神経外科	
動悸・息切れ ▶	心臓血管外科	P21
足の血管が浮いて瘤に ▶	血管外科	P23
急な激しい腹痛 ▶	外科・消化器外科 内視鏡外科	
お腹の痛み・違和感 ▶	消化器内科	P25
突然のけが・体調不良 ▶	救急科	
足のしびれ、膝や股関節の痛み ▶	整形外科	P27
せき・痰 ▶	呼吸器内科	P29
まぶたのたるみ ▶	形成外科	
しびれ・めまい うまく力が入らない ▶	脳神経内科	P31
おなかの赤ちゃんのこと ▶	胎児診断外来 遺伝カウンセリング外来	

受診先がわからない



「からだの不調はあるけど、どの診療科を受診すれば良いかわからない」「検査で異常はなかったけど、気になる症状が続いている」など、受診先選びに迷われたり、受診をためらったりされている方などは、総合診療科の受診をご検討ください。

同科は特定の臓器の診療を専門とするのではなく、内科系疾患全般を対象としています。丁寧に診察・検査をさせていただき、気になる症状の原因を探し、必要な治療を行う、あるいは必要に応じて院内の他の診療科や他院を紹介いたします。



**血圧、採血結果（血糖や脂質など）、
検尿などで異常を指摘された方**

与次郎米盛クリニックの総合診療科にて必要な検査・診察を行います。

【2次検査の主な内容】

▶腹部エコー ▶ブドウ糖負荷試験 ▶血液検査 ▶尿検査



心電図検査で異常を指摘された方

まずは、与次郎米盛クリニックの循環器外来にて問診、診察、検査を行います。

【2次検査の主な内容】

▶安静時12誘導心電図検査 ▶運動負荷心電図検査（トレッドミル、エルゴメーター等） ▶ホルター心電図検査（24時間心電図検査） ▶心臓超音波検査（心エコー検査）

健康診断やがん検診などの
「要精密検査」に対応します

症状や検査内容によって対応できる曜日・時間が異なりますので、必ず事前にお電話ください。

診療科のご紹介



総合診療科



与次郎米盛クリニックで診療しています(曜日ごとに診療時間が異なる場合がありますので、受診の際はホームページをご覧くださいか、お電話にてご確認ください)。

さまざまな症状に対応していますが、頭痛や腹痛、めまい、発熱、倦怠感(だるさ)などの日常的な症状で受診される方が多いようです。これらの症状はもちろん、その他の気になる症状やつらい症状が続いている場合などは、どうぞご相談ください。



現在当院では、感染拡大防止策といたしまして、風邪症状等がある患者さまにつきましては、発熱外来で診療を行っております。予約制とさせていただいておりますので、診察を希望される方は、大変お手数ですが以下の電話番号までご連絡ください。

TEL 099-230-0143 (電話受付時間 / 平日 9:00 ~ 17:00)



胃部エックス線検査(バリウム検査)、胃内視鏡検査(胃カメラ)、便潜血検査、腹部エコー検査などで異常を指摘された方

米盛病院の消化器内科外来にて、胃カメラや大腸カメラなどの検査および診察を行います。

【2次検査の主な内容】

▶胃カメラ(経鼻内視鏡)検査 ▶大腸カメラ(内視鏡)検査

当院は「**大腸がん検診精密検査実施協力医療機関**」※

「**胃がん検診精密検査実施協力医療機関**」※です。



胸部エックス線検査、喀痰細胞診(たんの検査)、胸部エコー検査などで異常を指摘された方

米盛病院の呼吸器内科外来にて胸部CT検査や喀痰検査などの検査および診察を行います。

【2次検査の主な内容】

▶胸部レントゲン、胸部CT ▶肺機能検査 ▶気管支鏡検査

当院は「**肺がん検診精密検査実施協力医療機関**」※です。

※「精密検査実施協力医療機関」とは一次検診の結果、精密検査が必要な方に対して、二次精密健診が適切にできる医療機関として、県が指定した医療機関のことです。

胸の痛み



胸全体が押さえつけられるような圧迫感や痛みが数分～15分程度続く場合、狭心症の可能性があります。痛みが肩や首、あご、歯などへ広がり、冷や汗、吐き気、息切れなどが生じることも。

安静にしているでも、20分以上激しい痛みが継続する場合は、緊急性がより高い急性心筋梗塞の可能性があるので、すぐに救急車を呼んでください。

突然の頭痛・ろれつが回らない・片側の手足のまひ

脳の血管トラブルによって起こる脳卒中には脳梗塞、くも膜下出血、脳出血があり、そのうちの約6～7割が脳梗塞です。代表的な症状は、突然の頭痛、ろれつが回らない、片側の手足が動かしにくい、しびれがある、などです。脳卒中かもと疑った場合はすぐに救急車を呼んでください。また、脳梗塞を疑う症状が現れたものの、短時間で消失することもあります。これは脳梗塞の前兆である可能性がありますので、専門科へ相談してください。



診療科のご紹介



循環器内科



心臓の血管や他の血管、心臓そのものに生じる疾患を対象に治療を行っています。(狭心症、心筋梗塞、不整脈、弁膜症、心筋症、心不全、閉塞性動脈硬化症など) 主に、カテーテルを駆使して、詰まったり、狭くなったりした血管を内側から押し抜けて血流を再開させる治療や、不整脈の根治治療などを行っています。

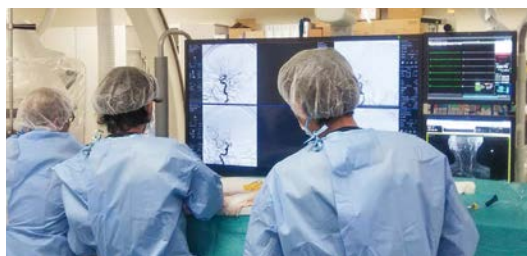
血管外科医、心臓血管外科医、その他の多職種スタッフと共同して治療方針を協議し、症状やライフスタイルにあった治療方法をご提案しています。



脳神経外科



当科の診療の柱は、①脳卒中、②頭部外傷です。脳卒中は脳梗塞、くも膜下出血、脳出血に分類されます。脳梗塞は脳の血管が閉塞して起こります。近年、注目を集めている急性期脳梗塞治療として、「血栓溶解療法」やカテーテルによ



る「血栓回収療法」がありますが、いずれも当院では 24 時間 365 日迅速に実施しています。また、くも膜下出血の原因の約 9 割は脳動脈瘤の破裂によるものです。この脳動脈瘤治療としてネッククリッピング術(開頭手術)や脳血管内治療(カテーテル手術)のどちらかを行うこととなりますが、当院ではそのどちらも迅速に実施しています。そのほか、脳出血や頭部外傷はもちろん、脳腫瘍や顔面痙攣、三叉神経痛などの手術も含め診療範囲をさらに拡充して対応しています。

動悸・息切れ



脈拍が速く、ドキドキするような心臓の拍動やめまい、立ちくらみなどを生じる場合、頻脈性不整脈が考えられます。安静時や軽い運動でもめまいや息切れを起こし、強い疲労感や失神などが生じる場合、脈拍が遅くなる徐脈性不整脈が疑われます。

循環器疾患は、生活習慣を原因とするケースが多く、脳梗塞など次の病気へつながるリスクも高くなります。

足の血管が^{こぶ}浮いて瘤に

足の血管がこぶのように浮き出てくる症状を下肢静脈瘤といいます。足の静脈(全身に送られた血液が心臓に戻る血管)の弁が正常に働かず、血液が逆流し、足の静脈内に血液がたまることで起こります。女性に多く、年齢を重ねるほど発症リスクが高まります。長時間の立ち仕事や妊娠・出産を経験された方に発症することが多いとされます。また、肥満も原因のひとつです。症状の多くがふくらはぎに発症し、足のだるさや重さ、鈍い痛み、むくみ、かゆみ、湿疹などの症状が慢性的に生じます。



診療科のご紹介



心臓血管外科



2023年1月より新しい診療体制を構築し、心臓血管外科治療を提供しています。手術が必要なあらゆる心臓・大血管疾患に対して365日対応し、鹿児島の地域医療に貢献してまいります。狭心症、心筋梗塞、弁膜症、胸部大動脈瘤、急性大動脈解離といった疾患に対して外科治療を行っています。透析患者さまへの対応も行っています。

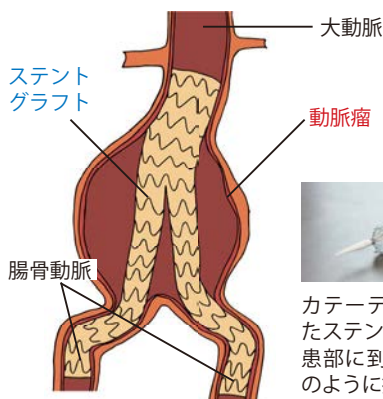


血管外科



心臓血管外科、循環器内科、救急科などと連携し、心臓・大動脈・末梢血管外科に関連する患者さんを受け入れています。当科では、従来の開胸・開腹による心臓および大動脈手術に加え、特に大動脈瘤や大動脈解離には、体への負担が少ないステントグラフトを用いた手術も行っています(写真)。この低侵襲手術は術後の回復が早く、短期入院で済むため、退院後のADL低下もほとんどありません。

【腹部大動脈瘤へのステントグラフト内挿術】



カテーテルに収納されたステントグラフトは、患部に到達すると写真のように拡張します

急な激しい腹痛



急に発症した激しい腹痛で、緊急手術などの迅速な対応が必要なおなかの病気を総称して「急性腹症」と呼びます。痛みの原因は虫垂炎、主に胆石によって引き起こされる急性胆のう炎、胃や腸に穴があく消化管穿孔、腸がねじれて起こる腸閉塞など様々です。

できるだけ早く痛みの原因を探し、適切な治療を行うことが大切です。激しい痛みが持続する、血便や吐血、繰り返す嘔吐がある、今までに経験したことのない痛みなどの場合は、休日や夜間でもためらわずに救急対応の医療機関を受診しましょう。

お腹の痛み・違和感

突然の痛みから慢性的なものまで、お腹の痛みにはさまざまな症状があり、原因也多岐にわたります。激しい痛みや下痢、血便、吐血などの症状がある場合、より緊急性が高いため、速やかに救急車を呼ぶ・病院を受診するなどの対応を行ってください。

また、「違和感がある程度」「たいしたことはない」と思っている、何らかの病気が隠れている可能性があります。自覚症状はなくても、検査によって病気が発見されるケースもあります。



診療科のご紹介



外科・消化器外科・内視鏡外科



重症度に関係なく、けがなどの外傷から、虫垂炎（いわゆる盲腸）・胆のう炎・鼠径ヘルニアなどの疾患まで幅広く診療しており、緊急手術が必要な場合は時間を問わず対応します。

適応があれば、キズが小さくからだの負担が少ない腹腔鏡手術を行います。積極的に腹腔鏡での手術を選択しており、極力患者さまに負担をかけないように努めています。

患者さまの安全を最優先に考え、麻酔科や救急科をはじめ、さまざまな部署と連携して最適な治療法を選択します。



患者さまの身体への負担が少ない腹腔鏡手術



消化器内科



腹痛や心窩部痛（みぞおちあたりの痛み）、便秘や下痢、胸やけ、吐血、下血、血便など消化器系の症状でお困りの方や、症状はなくても健康診断で再検査や精密検査が必要となった方などの診療を行います。治療や検査に使用する胃カメラは、できるだけ患者さまのご負担が少ないよう、鼻から挿入するタイプの胃カメラ（経鼻内視鏡）を標準的に使用しています。



経鼻内視鏡を標準的に使用

突然のけが・体調不良



突然のけがや体調不良で病院を受診するかどうか、判断に迷うことがあると思います。米盛病院では、そのような際の相談窓口として「24時間救急相談ダイヤル# 7099」を開設しています。

今すぐ救急車を呼んだ方が良いのか、あるいは応急処置で様子を見て大丈夫か、など救急救命士が24時間365日、お一人おひとりの症状や経過、緊急度、重症度などから総合的に判断し、適切な対処方法をアドバイスさせていただきます。

レッドウィング

救急医療用ヘリ **Red Wing** を紹介します！

◆スピード：最高速度 311km/h

◆航続距離：宝島まで無給油往復



「Red Wing」には主に二つの運用方法があり、一つは公的な鹿児島県ドクターヘリの補完ヘリとして。もう一つは離島や遠方の患者さまで陸路・海路での移動が体力的に難しい場合の「民間ヘリ」としての移送です。出動要請が入ると医師と看護師、パイロット、整備士の計4名が現場に向かいます。現在、民間で救急医療用ヘリを所有している病院は全国で2例しかありません。



診療科のご紹介



救急科

(救命救急センター)



命に関わる急な病気や交通事故など、迅速な救命措置が必要な患者さまの救急搬送を 24 時間 365 日受け入れています。全国でも 30 施設ほどにしか導入されていない「ハイブリッド ER」を備え、迅速な救命措置を行っています。また、救急医療用ヘリ Red Wing やドクターカーを駆使し、待つだけでなく現場に行く救急医療にも注力しています。休日や夜間には、徒歩や自家用車などで直接来院される急患の診療も行っています。



ハイブリッド ER



ドクターカー

当院の救急医療のコンセプト「YES」

救急医療用ヘリの機体に書かれている「YES」の文字。これは「YONEMORI EMERGENCY SERVICE (米盛救急サービス)」の頭文字をとったもので、どんな患者さまも「YES！」と受け入れる、そんな思いを込めています。



米盛病院 24 時間救急相談ダイヤル # 7099

交通事故や労働災害などでの大けがはもちろん、「急に頭が痛くなった」「胸が苦しい」「お腹がひどく痛む」といったとき、どう行動すればいいか、お困りになることがあります。当院では 24 時間救急相談ダイヤル「# 7099」を受け付けております。お気軽にご相談ください。

足のしびれ



足のしびれを引き起こす代表的な疾患の一つに「腰部脊柱管狭窄症」があります。背骨の変形や椎間板の膨らみによって脊柱管(脊髄が通る空間)が狭くなり、神経が圧迫され血流が低下することで発症します。しびれの他に足の痛みや脱力などの症状もみられます。トイレが近くなる、思うように排尿できない、便秘がひどいといった膀胱直腸障害が生じることもあります。

しびれの原因となる疾患には、他にも「腰椎椎間板ヘルニア」などの整形外科疾患や、循環器系疾患によるものなどさまざまで、原因によって治療法も異なります。お悩みの方は受診をご検討ください。

膝や股関節の痛み

関節の軟骨がすり減り、強い痛みを生じる疾患に「変形性関節症」があります。膝関節や股関節に発生することが多く、発症当初は、立ち上がり時や歩き始めなどの動作に痛みを感じる程度ですが、進行すると正座や階段の昇り降りが困難となり、さらに進行が進むと歩行も難しくなるなど、日常生活に支障をきたすこともあります。

減量や関節周辺の筋力を向上させることで症状が改善することもあります。治療が必要な場合は薬物療法や装具療法、手術による治療など、患者さま個々の症状などにあった治療法を選択していきます。



診療科のご紹介



整形外科



整形外科はお子さんから高齢者、首から足の先までと年齢も身体部位も担当領域が広い診療科です。そのため当院は、月曜から金曜は6人、土曜は2人の整形外科医が外来を担当しています。そして、膝・股関節など関節疾患、首・腰など脊髄・脊椎疾患、四肢骨折などの外傷、骨粗鬆症など各専門領域の経験豊富な医師をそろえていますので、各疾患に対して適切な治療方針の提案ができると自負しています。手術室には先進設備が積極的に導入されており、年間約3500件の手術実績を誇っています。また、術後早期から積極的なリハビリテーションを行っています。



整形外科は土曜日（午前のみ）も予約なしで受診していただけます（与次郎米盛クリニック）



与次郎米盛クリニック・米盛病院の リハビリテーション

整形外科、脳神経外科、循環器内科などの多様な疾患の患者さまに対して、当院のコンセプト「一秒を救う。一生につなぐ。」の「一生につなぐ」を理念として、超急性期から回復期までの一貫したリハビリテーションができる体制を整え、早期機能改善、早期社会復帰を目指しています。退院後のリハビリテーションについても、与次郎米盛クリニックでの外来リハ、まろにえ介護老人保健施設での通所・入所リハビリテーション、マロニエ

訪問看護ステーション「護国」からの訪問リハビリテーションを連携して実施しています。



200名を超えるリハビリスタッフが、きめ細やかなリハビリテーションを提供しています

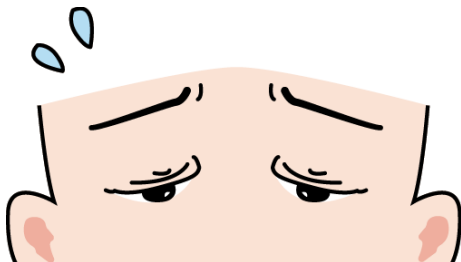
せき・痰



せきや痰がいつもより増えてきた、黄色や緑色のたんが出る、咳がなかなか止まらないなどの際は、呼吸器系の病気の可能性があります。2週間以上症状が続く場合は、間質性肺炎、ぜんそく、COPD(慢性閉塞性肺疾患)、慢性気管支炎などの呼吸器疾患や、肺炎や上気道炎、下気道炎などの呼吸器感染症の病気の場合があります。また、肺結核、肺がんなど深刻な病気の可能性もあります。

まぶたのたるみ

まぶたが下がってきて目が充分に開かないために、視界が狭くなってしまう状態を「眼瞼下垂(がんけんかすい)」といいます。ものが見えづらい、まぶたが重いという症状が、片眼だけでなく両眼に起こることもあります。



眼瞼下垂の原因はいくつかありますが、手術治療が可能な場合があります。まぶたを持ち上げる筋肉がうまく働くようにする手術や、まぶたの皮膚のたるみを切除する手術など、原因に応じて手術方法を選択します。手術は日帰りで行うことがほとんどです。年のせい、と放置せず、外来へご相談ください。

診療科のご紹介



呼吸器内科



鼻から始まりのど、気管、気管支、肺へと続く呼吸器系の内科疾患の患者さまを幅広く診療いたします。主な対象疾患は、慢性的な呼吸器疾患(間質性肺炎やぜんそく、慢性閉塞性肺疾患、慢性気管支喘息など)および呼吸器感染症(肺炎や上気道炎、下気道炎など)ですが、動悸や息切れ、せき、たん、など肺にまつわる症状で気になることがある方は、お気軽にご相談ください。



現在当院では、感染拡大防止策といたしまして、風邪症状等がある患者さまにつきましては、発熱外来で診療を行っております。予約制とさせていただきますので、診察を希望される方は、大変お手数ですが以下の電話番号までご連絡ください。

TEL 099-230-0143 (電話受付時間 / 平日 9:00 ~ 17:00)



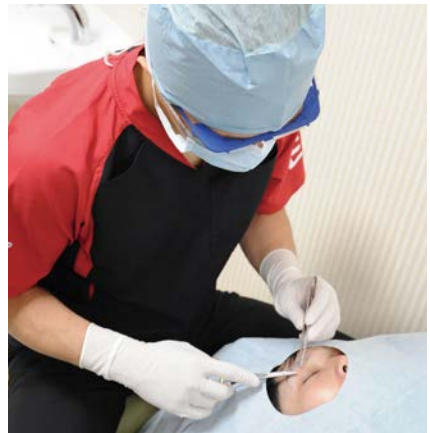
形成外科



形成外科は、事故や手術、先天的に顔やからだの表面に生じた変形を、本来の機能・形態により近づけていく診療科です。

顔面外傷、四肢外傷、手指切断、やけどといった超急性期治療のほか、ほくろや傷痕、眼瞼下垂、巻き爪、けがややけどの後の目立つ瘢痕(きずあと)などといった症状にも対応しています。

(保険外の美容外科には対応しておりません)



しびれ・めまい うまく力が入らない



上記の症状の他、歩きにくい、ふらつく、つっぱる、ひきつけ、むせ、しゃべりにくい、ものが二重に見える、頭痛、勝手に手足や体が動いてしまう、ものわすれ、意識障害など、体を動かしたり感じたりすることや、考えたり覚えたりすることが上手にできなくなった時に脳神経内科の病気を疑います。

おなかの赤ちゃんのこと

「自分や家族の病気がおなかの赤ちゃんに遺伝しないか心配している」「上の子に生まれつきの病気があり、次の子も同じように発症しないか心配している」など、染色体や遺伝子に関わる病気はさまざま。

出生前検査は必ずしも受ける必要はありませんが、スクリーニング検査や確定診断検査を受けるかどうかをご夫婦やパートナーとの間でよく話し合い、十分なカウンセリングを受けてから検査について検討する必要があります。



※原則として産婦人科の一般外来診察は行っておりませんが、入院患者さまへの対応や救急処置は行っています。

診療科のご紹介



脳神経内科



脳神経内科は、脳や脊髄、神経、筋肉など全身を診ることができる内科です。また、脳神経内科は心療内科や精神科とは異なり、精神的な問題からではなく、脳や脊髄、神経、筋肉に病気の原因があり、体が不自由になる病気を扱います。まず、神経学的に病気があるかどうか診断し、脳神経内科以外での治療や検査が必要な場合は適切な科に紹介します。

脳神経内科疾患の場合は、外来で治療や経過観察を続けていける疾患は外来通院で、入院治療が必要な疾患の場合は適切な入院施設を紹介します。

(なお、臨床遺伝専門医でもあり、遺伝カウンセリング外来も担当しています)

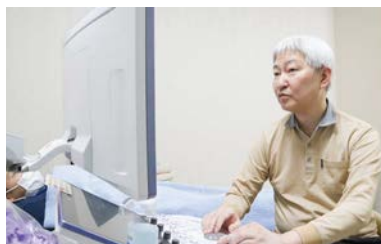


胎児診断外来



妊娠または胎児について不安、悩み、疑問等をお持ちの方に、正確な情報を示し、臨床遺伝専門医がご相談にお答えいたします。

カウンセリングだけでもお受けいたします。
なお、胎児診断を受けるには、必ずカウンセリングを受けていただくことが必要になります。



遺伝カウンセリング外来



遺伝・遺伝病などに関してお悩みやご不安をお持ちの方の相談を受け付けています(カウンセリング約1時間)。毎週月曜に行っていますのでお気軽にお問い合わせください。

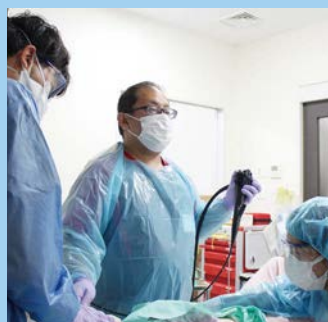
主な検査のご紹介

与次郎米盛クリニック
米盛病院



CT 検査

X線を使って身体を輪切りにしたような画像を作って、主に血管や肝臓などの臓器を観察する検査です。



上部消化管内視鏡検査(胃カメラ)

先端にカメラが付いた管を口あるいは鼻から挿入し、食道などの内部を観察します。



MRI 検査

磁石と電磁波を使う検査で、発症直後の脳梗塞やX線では評価しにくい筋肉や椎間板などが見えます。



骨密度測定



RI 検査 (核医学検査)



血管造影検査

細い管をからだに挿入して、その管から造影剤という薬剤を流し血管の状態を見ます。

画像検査ではそのほかに

X線撮影検査(レントゲン撮影)、X線透視検査、大腸内視鏡検査(大腸カメラ)、ERCP(内視鏡的逆行性胆管膵管造影)、MRCP(MR胆管膵管撮影)

などを行っています。

検査と治療を同時に行える先進設備



ハイブリッド ER

初期治療から緊急手術までに必要なさまざまな検査・医療機器(血管造影装置・CT、手術台など)を集約した救急室です。救急の患者さまを各検査室に運ぶ時間的ロスと、患者さまの身体的負担を減らすことが可能です。九州には当院を含め2ヶ所しか稼働していません。

ハイブリッド OR

ハイブリッド ER と同様に、手術と、CT および血管造影の検査を同時並行できる手術室のことです。人工関節置換術などのナビゲーション手術(Mako)も行っています。手術に関して時間の短縮や患者さまの負担軽減、治療精度向上などのメリットがあります。



生理機能検査では

【検体検査】 PCR、抗原定量検査(新型コロナウイルス感染症)、POCT(血液ガス、インフルエンザ、ノロウイルス、トロポニン、薬物中毒検出など)、採血、出血時間、凝固時間

【検診・健診】 心電図検査、超音波エコー検査、ホルター心電図検査、血圧脈波(CAVI/ABI/TBI)、神経伝導検査、脳波検査、運動負荷心電図検査(トレッドミル)、視力検査、聴力検査、心臓カテーテル・アブレーション(ポリグラフ)、術中神経モニタリング

などを行っています。



ホームページの
「主な検査」はこちら



ホームページの
「主な設備・機器」
はこちら

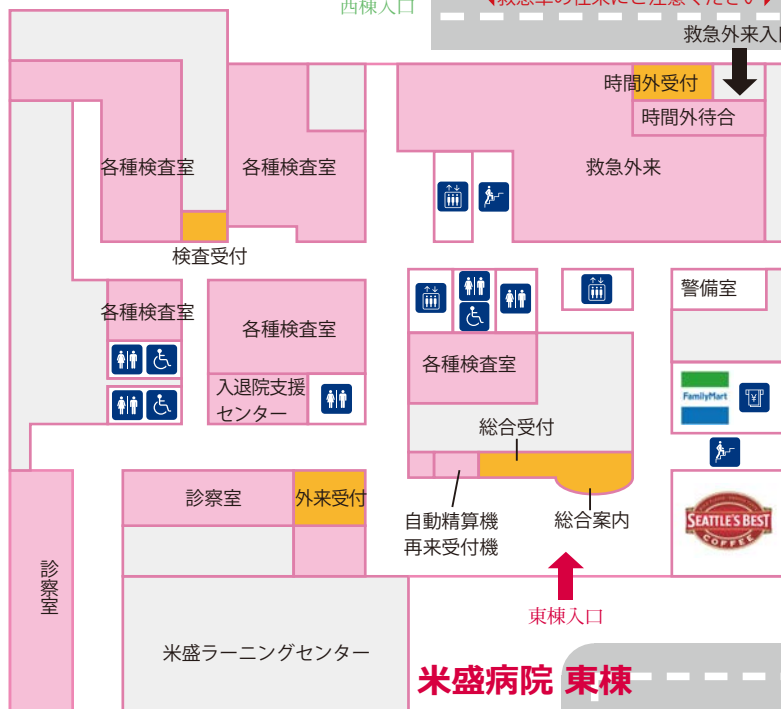
与次郎米盛クリニック 米盛病院 フロアマップ



西棟入口

◀救急車の往来にご注意ください▶

救急外来入口

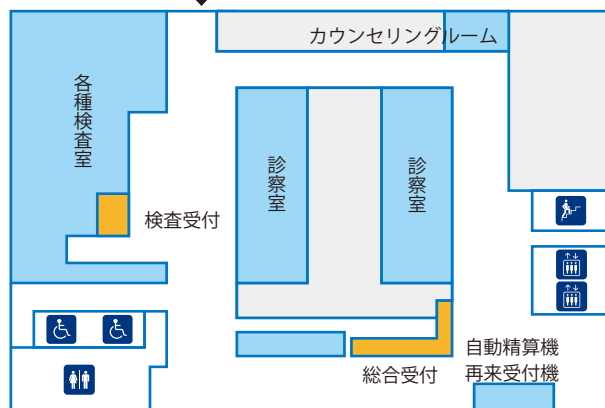


東棟入口

米盛病院 東棟



職員通用口(通行の際は、スタッフの同行が必要です)



与次郎米盛クリニック

第2駐車場

クリニック入口

第1駐車場

フレสบジョングルパーク(桜島側)

米盛病院・与次郎米盛クリニックでは、
「整形外科」だけではなく、
「脳」や「心臓」などの救急疾患から、
日常的な症状まで幅広く対応しています。



まわりの人たちの幸せな笑顔が、私たち職員の喜びです。

米盛病院

【電話番号】099-230-0100

【診療時間】月～金曜 9:00～12:30 / 14:00～18:00

【受付時間】月～金曜 8:30～17:00

【休 診】土・日曜、祝日

※紹介状がなく受診された場合、通常の診療費とは別に
「特別の料金」を徴収することが義務づけられています。

救命救急センター

鹿児島県災害拠点病院 / 基幹型臨床研修病院

与次郎米盛クリニック

【電話番号】099-255-1500

【外 来】総合診療科 / 循環器外来 / 脳神経外科
整形外科 / 外来リハビリテーション

※紹介状なしの受診でも「特別の料金」は発生しません。

【診療時間】月～金曜 9:00～12:30 / 14:00～18:00
土曜 9:00～12:30 / 14:00～16:30

【受付時間】月～金曜 8:30～17:00
土曜 8:30～16:00

【休 診】日曜・祝日

12:00以降の受付は午後の診療となります。 / 診療・受付時間は診療科ごとに異なりますので、事前にご確認ください。

【米盛病院 標榜科】 救急科 / 整形外科 / 循環器内科 / 心臓血管外科 / 血管外科 / 脳神経外科 / 形成外科 / 外科
消化器外科 / 内科 / 呼吸器内科 / 消化器内科 / 糖尿病内科 / 心療内科 / リウマチ科 / リハビリテーション科
放射線科 / 麻酔科 / 小児科 / 産婦人科 (計 20 科)

関連施設

まろにえ介護老人保健施設 / マロニエ訪問看護ステーション「護国」 / 米盛病院 居宅介護支援事業所

社会医療法人緑泉会のホームページ・公式 SNS



SmaHapi





24 時間救急相談ダイヤル

**#を
おして** **7099**

救急救命士がご相談に応じます

不安に感じる症状（頭痛、腹痛、胸の苦しさ等）、
病院に行った方が良いか判断に迷う時など、
まずはお電話ください。ご相談は 365 日対応いたします。

みなさまの声を聞かせください

本日の診察について良かった点や、改善が望まれる点などを、ぜひお聞かせください(右の二次元コードから投稿フォームへ)。または、院内設置のご意見箱へ投書ください。

